

令和 7 年 1 1 月定例会一般質問発言通告表

発言 順序	10	議席 番号	7	氏名	齋 藤 和 文 議員	1 / 1
発 言 項 目				要 旨		答 弁 者
1 こどもから大人までの金融教育について				現在、国会では公明党岡本三成衆議院議員から、ソブリン・ウェルス・ファンド（政府系ファンド）というこれまでにない提案がされ注目されている。日本は他の先進諸国と比べ金融教育は遅れており、国民の金融リテラシーに課題があるとされている。私自身、知識として金融の勉強をした記憶はほとんどない。市民からは学びたい、金融関係者からは学んでほしいと意見が出ている。そこで以下伺う。 (1) 2022年4月から金融教育が必修化されたが、小学生及び中学生の学びの場はあるのか。 ① 年齢に応じた学習や授業について。 ② 授業は誰が行うのか（専門家なのか、先生か）。 ③ 専門家が学校で教えることは可能か。 (2) 成人教育の中で金融教育を学びたいといった声もある。現在、富士宮市等で開催している講座はあるのか。 ① 世代に応じた講座なのか。 ② 講師はどのような方（専門性・公平性に富んだ方）が行うのか（市の職員か、専門家か）。 (3) 今後行政（市・教育委員会）はどのような金融教育を行う場を作っていくのか。		市長 副市長 教育長 関係部長
2 障がい者も健常者も行えるスポーツについて				富士宮市は「市民ひとり1スポーツ」をスローガンに掲げているスポーツ都市である。スポーツは健康で明るくたくましい市民の育成につながる。年齢の隔てなく、障がいの有無にかかわらず、スポーツを楽しみたいと考えている。 今年は国際ろう者スポーツ委員会が主催する「東京2025デフリンピック」が11月15日から26日まで行われる。そのような中、11月1日に富士宮市身体障害者福祉会主催の「卓球バレー」が総合福祉会館安藤記念ホールで行われた。年齢も関係なく、どんな方でもでき、それにも関わらず、あれほど激しいスポーツも珍しく、驚きを隠せなかった。そこで以下伺う。 (1) 今年の「全国障害者スポーツ大会」、「東京2025デフリンピック」の市民出場者について。 (2) 今後同様の大会等の開催時には、事前合宿の候補地に手を挙げる可能性はあるのか。 (3) どんな方でもできるスポーツの普及について。 ① 障がい者スポーツの普及について。 ② 「卓球バレー」の普及について。 ③ 障がい者スポーツ用具の貸出しについて。 ④ 市民参加を促すために必要なことは何か。		市長 副市長 教育長 関係部長